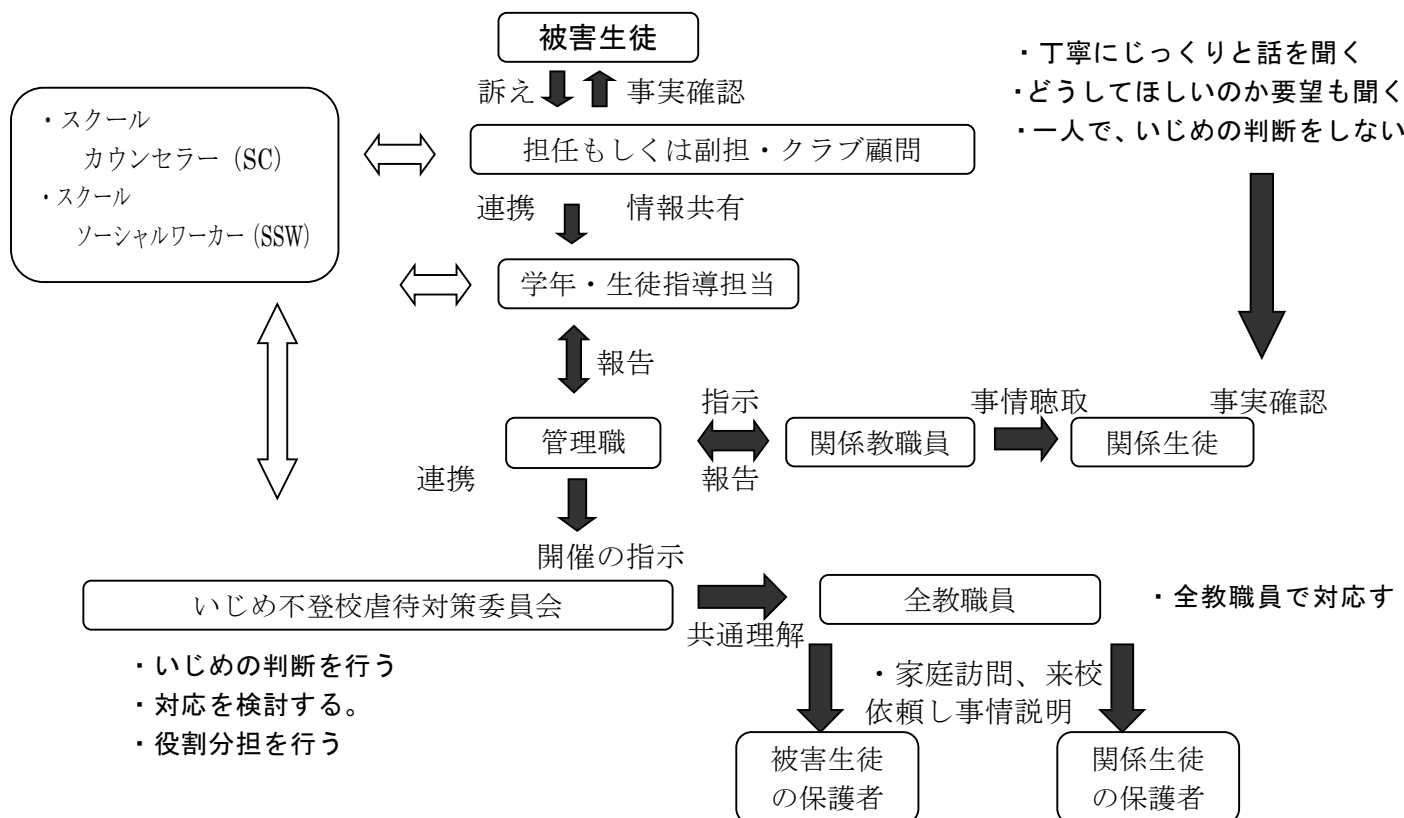


いじめ防止等に関する年間計画				
	学校	生徒	保護者	地域・その他
4月	校内研修			
5月		いじめ防止週間 (生徒会)	PTA 地区委員会	地域教育協議会 PTA・学校評議員
		学校生活アンケート		
6月		学級懇談	PTA 地区委員会	学校一日公開
7月		三者懇談	PTA 地区委員会	地域教育協議会
	学期末集計、点検・検証			
8月	校内研修		PTA 地区委員会	
9月			PTA 地区委員会	地域教育協議会
10月		いじめ防止授業	PTA 地区委員会	学校一日公開
11月		学校教育自己診断		地域教育協議会 PTA・学校評議員
		学校生活アンケート	PTA 地区委員会	
12月	学期末集計、点検・検証		PTA 地区委員会	
1月	校内研修		PTA 地区委員会	地域教育協議会
		いじめ防止週間 (生徒会)		
2月		学校生活アンケート	PTA 地区委員会	
	学年末集計、点検・検証			
3月	校内研修 年度末点検・検証		PTA 地区委員会	地域教育協議会 PTA・学校評議員

【組織的な対応の流れ】



【留意事項】 *大阪府教育委員会「いじめ対応マニュアル」(平成24年12月参照)

「いじめ対応プログラムI」(平成19年6月参照)

○いじめを訴えてきた生徒への対応

- ・子どもの心身の状態等に配慮し、子どもの立場に立って思いを十分に聞き取る。
- ・いつ、どこで、誰に、何をされたか、事実を整理しつつ丁寧に聞き取る。
- ・聞き取りをする場所も含め、話しやすい雰囲気づくりに配慮する。
- ・結論を誘導したりせず、本人の言葉が出るまでじっくり待ち、本人の要望を十分に聞く。
- ・担任一人で、いじめかどうか判断をせず、複数の教師で情報連携する。
- ・対応やケアを継続するとともに引き続き様子を見ていく。

○いじめたと訴えられた生徒への対応

- ・いじめたと決め付けて話を聞くことがないよう子どもの立場に立って聞き取る。
- ・事実関係の正確な把握や、学校から関係者への説明を適切に行うために、記録を取る。
- ・それぞれの児童から、個別に話を聞き、事実関係のつきあわせを行ないながら全体像をつかむ。
- ・目撃した児童・生徒がいた場合、その児童・生徒からも状況を聞く。
- ・スマートフォン等情報機器を使用したいじめの場合、その情報がどういう経路でどの程度広がっているのかを確認する。

○いじめの防止等の対策のための組織(仮称)

- ・事実関係から、いじめの事態について判断する。
- ・いじめの事実のあるなしに関わらず、訴えた児童を支援する対応策を考える。
- ・できる限り具体的な支援策や対応策を立て、担任一人に任せることなく、全教職員で対応できるような詳細な役割分担を行う。(誰が、いつ、どこで、何をするのか)
- ・保護者への説明方法、説明内容等も具体的に検討する。(複数対応、電話では済ませない。)
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー・弁護士等との連携や緊急・重篤な事案に対しては、「警察等関係諸機関との連携」、「保護者・地域への状況説明」、「報道機関等への情報提供」など市教委と連携し、相談・協議する。